

のりちゃんさん

信愛幼稚園園長通信 NO.7

2023年4月20日

発行：横田 法子

29人のちゅうりっぷぐみさん、24人のほらぐみさん、43人のゆりぐみさん、みんな仲間だエイエイオー！ちゅうりっぷぐみ、ほらぐみの入園児の他に、ゆりぐみさんにもお引越して新しいお友達が加わりました。“〇〇”さんです。

96人の仲間がそろって、2023年度がスタートしました。ひとりひとりのお子さんがその子らしく成長して行けるように、職員一同で協力して寄り添い見守ります。保護者の皆さんにも子育てをされていて悩むことや困ったことがあればお聞きします。園からも今年度もご理解やご協力をお願いする向きもあると思います。大人の目と手と心を寄せ合って、協力して小さな人たちを育てていけたら幸いです。新たな一年。どうぞよろしくお願いいたします。

大好きなおうちの人と離れて一人で幼稚園に残ることが不安でかなしくて涙があふれてくるお子さんを抱っこしていると、「どうしたの？」「かなしいの？」と次々と声がかけられます。頭や背をなでなでしてくれるお子さんもいます。おともだちの悲しみに心を留める体験もなでなでされる体験も、おうちの人と離れて大泣きしてこそ。

ちゅうりっぷさんで勃発したケンカ。「自分の気持ち」がぶつかりあって「ごめんね」も「いいよ」も言えない2人の間にせんせいが入って、それぞれの気持ちを言葉にして寄り添いながら説諭するうちに…自分の気持ちに折り合いをつけて素直に「ごめんね」と「いいよ」が言えたそうです。驚かされたのはその日のその後の2人の言動。互いを思い合う微笑ましい様子がかげえたそうです。

おともだちとのいざござやケンカも大切な体験です。そうやって幼稚園での出来事からお子さんたちは心を動かしたり互いに通わせたりしながら成長していきます。大人の思うようにはいかなくなるのは自我の芽生え、成長の証しです。大人には歓迎できないような体験もあるかもしれませんが、子どもたちが伸びゆく上で与えられる大切なプロセスとなるように見守り、マイナスと思えることもプラスに転換させていく働きかけを心掛けていきましょう。